

北海道医歌人会詠草

遊山箱

函館 水関 清

羊腸の道をたぐればヤマザクラ ゆっくりほどける 難路の疲れ
榮養は 棚田の土に海風とため池の水 蜜柑の花咲く
捕虫網 片手に駆けし草叢は 幼な心の無上の天地
君はいつも記憶の中で帰還する 過去からなのか それとも未来
人生という楽譜の中に休符あり 次の一音 大切な音

人体解剖学

士別 竹内 幹夫

槌砧鎧と書いて思ひ出づ 桜貝のゆび今はいずこに
老教授M a m m a eと書いて微笑して 大小有りに爆笑の頃
人体の理知れりと膝を打つ 鯉弓の妙M e s oの回転
廃用の脂肪化衰し老翁の 四頭筋みな既に黄変
白百合の造花を数多作る日も 教授の背中教室に在り

プロフェッショナル

滝川 村田 英俊

田植え時に休む施設の事務長は介護士得んと合間に面接
会えたなら得した気分になる女性ありシメのデザートのような同僚
マスクして黒装束に身を包む「くノ一」と呼びたきスイーパー
通勤で見る娘に「鬼龍院」と仇名つけ怖そうなれど時にやさしい
更衣室にそつと置かれた腰ベルト君もたまには休むといひよ

遅い春

江別 三宅 浩次

家影にまだ残雪のひそみいて北の国での春の遅さや
春が来てスノードロップの花咲きて今年も同じ位置を占めて
南では桜の花に浮かれても北の桜のつぼみは堅し
北国の遅れた春はこの後に一斉に花の咲く時を迎う
君の胸に福寿草の花飾りたし共に耐えきし冬の別れに

ヤナギバシヤリントウ

札幌 浜島 泉

雪積もる下にヤナギバシヤリントウ 緑濃き葉と赤く堅き実
妻からのバレンタインは皮グラブ 繕ひつるを哀れみければ
町なかの緑地の雪に刻まれし キタキツネ踏む曲がらざる跡
幅狭きブラックアイスバーンをば侮り転倒 今日も溶くるか
交通が途絶えし去年の積雪を思ひつ 今日のパスの走りに

G o t o T r a v e l

釧路 兎玉 昌彦

辛うじて自立保てた日常が人手に頼る老いひとり旅
杖なくば独歩不能と思ひ知る全身筋力おとろえまざまざ
乗り換えにあせる階段人の波果てに待ってたド派手な転倒
ギリギリに荷物絞れど北国の厚着があだの熱気・首都圏
本屋巡礼・展覧会に同窓会・欲ばり過ぎたプランを反省

J R 留萌本線 (1)

北広島 古屋雅三知

おもむろに『北海道ラブ』の切符持て 深川駅より東へ向かふ
三月の末にて消ゆる留萌線 線路に幾多の思ひ出残し
雪原にポツンと一つ駅のあり 北一已に待つ人も無し
白嶺の暑寒を臨む沼田駅 石狩平野の北の涯なり
『明日萌』のモデルとなりし恵比島の 駅に息づくドラマの名残り